

12.ワードアート

12.1ワードアートの起動

A 図形描画のツールバーを使う方法

画面の下側(タスクバーの上)に図形描画のツールバーがあります。

[ワードアートの挿入]ボタンをクリックします。

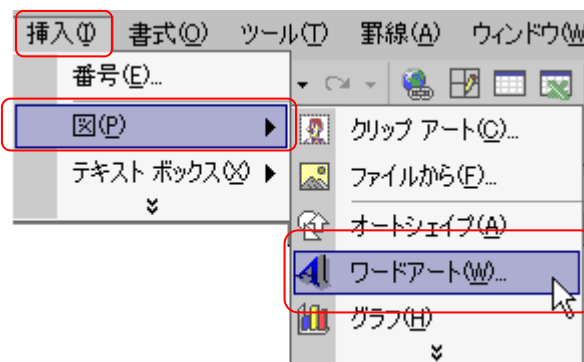


図形描画のツールバーが表示されていないときは?
 ツールバーの[図形描画]ボタンをクリックすると表示されます。
 (注)[図形描画]ボタンは表示/非表示を切り替えます



B メニューバーを使う方法

[挿入]→[図]→[ワードアート]を選択する。



12.2 ワードアートの設定

ワードアートギャラリーでスタイルを選択します
 デザインを選択して「OK」ボタン
 をクリックして決定します。

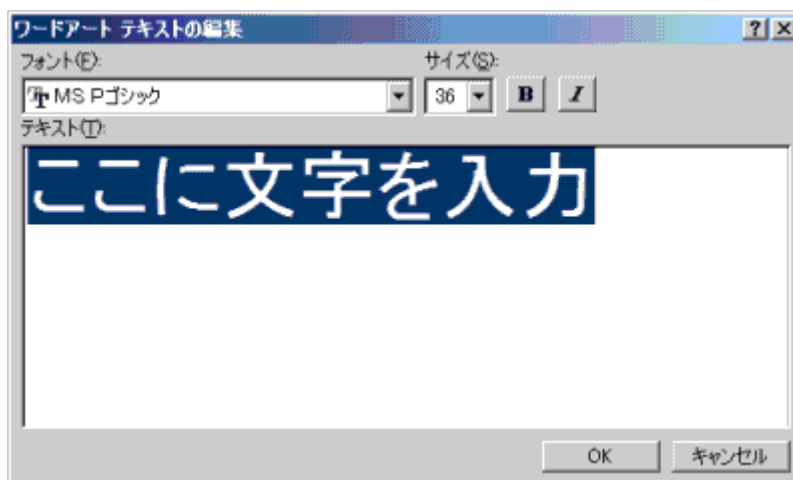


12.3 テキストの編集

ワードアート テキストの編集

「ここに文字を入力」と選択された状態で表示されますので、このままの状態からキーボードから文字を入力します。

(この反転された文字は[Back Space]キーや[Delete]キーを使って消します。次にカーソルが表示されたら、通常の文字編集と同様文字を入力します。)



文字を入力したら、[OK] ボタンで決定します。
ここで[フォント](書体)や[サイズ](文字の大きさ)、[太字]、[斜体]の設定が可能です。

文書中のカーソルのある位置にワードアートが表示されます。



12.4 ワードアートの移動

下図のように、マウスポインタの形が変わったら、ドラッグして、好きな場所に配置します。

(注)ワードアートが移動できない場合(テキストの折り返しを参照のこと)

テキストの折り返しを[行内]以外を指定すると、任意の位置に動かせます。ここでは、テキストの折り返しを(四角)にしてあります。



(注)ワードアートの選択は文字の上にマウスポインタを合わせます。十字矢印に変わるところ(文字の隙間では選択できません)でクリックするとワードアートの編集メニューが出ます。



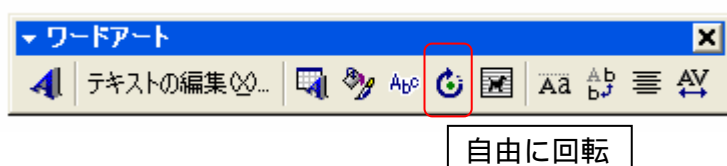
12.5 ワードアートの修正

12.5.1 大きさの調整

白四角 (Word2002 は白丸) の上にマウスポインタを乗せ、ドラッグすると大きさを変えることができます。

黄色ひし形は文字の傾き を変えることができます。マウスポインタを重ねてからドラッグすると動かせます。

回転はワードアートのツールバーで[自由に回転]を使います (Word2002 は真ん中の上に青のマークがあり、これで回転する)



拡大、縮小

12.5.2 文字の修正

ワードアートのツールバーの[テキストの編集]を選択して、文字を修正できます。



ワードアートギャラリー

ワードアートの書式設定

12.5.3 デザインの変更

ワードアートツールバーの[ワードアートギャラリー]ボタンを選択します。

12.5.4 書式設定の変更

ワードアートツールバーの[ワードアートの書式設定]ボタンで書式が変えられます。

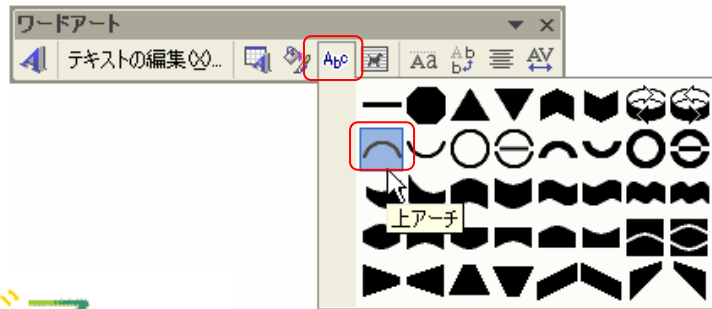
[塗りつぶし]や[線]で文字の色などを変えてオリジナルなデザインが可能です。



12.5.5 形状の変更

ワードアートツールバーの[形状]ボタンを選択します。

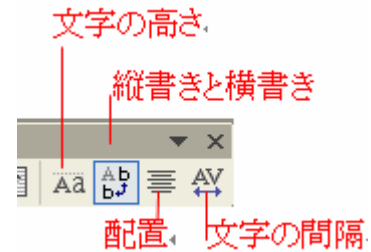
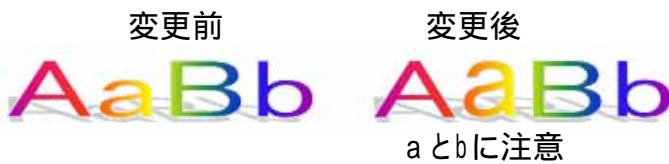
図のような形に文字列が配置されます。



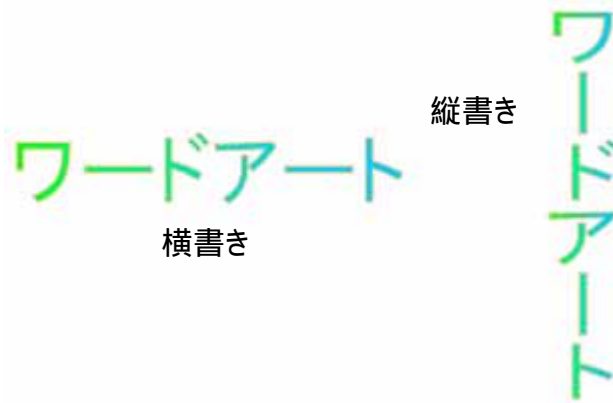
12.5.6 その他の変更

文字の高さが揃えられます。例えば、アルファベットの A と a の高さが同じになります。

文字の高さを揃える

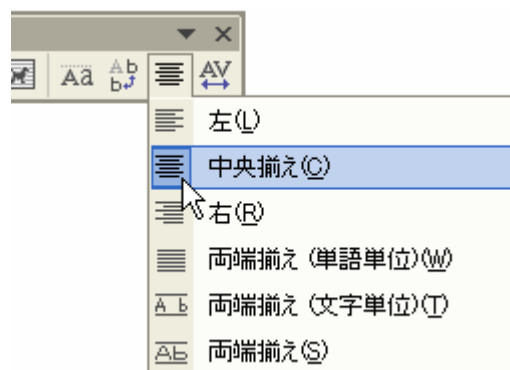


縦書きと横書き



配置

配置は文字列が2行以上の場合に有効です。1行の文字列では効果がありません。ツールバーの「配置」→「中央揃え」を選択



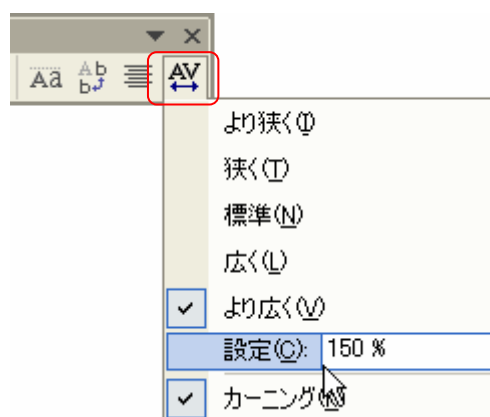
2行目の『配置』が中央に揃いました。



文字間隔

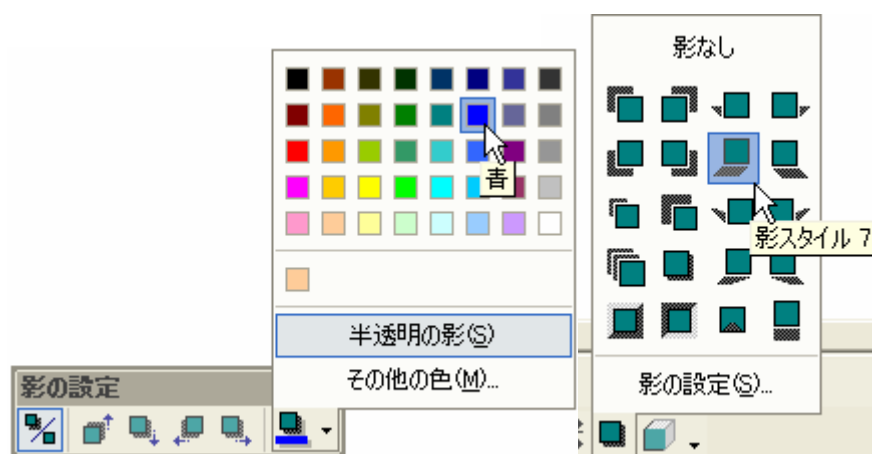
横方向の文字間隔を変更できます。

(間隔:150%の例です) 文字間隔が広くなりました。



影の設定例

の[影付きスタイル]ボタンを押す の[影のスタイル]を選ぶ の(影の設定)ボタンを押す の(影の色)の三角ボタンを押す の色を指定する。



影の色が[青]になりました。



3-D の設定例

の[3-D スタイル]ボタンを押す の[3-D スタイル 12]を選択する [3-D の設定]ボタンを押す の[3 - D の設定ツールバー]の三角印を押す [3-D の設定]色を選択する



立体文字に変わりました。

